

大樹の礎

Taiju no Ishizue

President Message

「報恩感謝」の建学精神と共に 積極的な姿勢で医療従事者を目指そう

学長 新藤 宣夫

「報恩感謝」の建学精神を持ち チーム医療の一翼を担う人材へ

新年度が3カ月過ぎた今、学生の皆様と保護者の皆様に向けて改めて、本学の建学精神をお話します。

本学は、1918（大正7）年創立の城西実務学校を祖とする城西学園グループの一員として、1960（昭和35）年、学校法人城西学園城西レントゲン技術専門学校を設立したことに端を発します。当時、日本は東京オリンピックの開催を控え、戦後の高度経済成長期の真ただ中にありました。技術立国として日進月歩の技術革新を遂げ、医療機器も目覚ましく進歩

していましたが、一方、医療機器を医療現場で役立てられる技術者の数が決して十分だとは言えない状況でした。そこで、本学は医療機器の技術に精通した人材の育成を大きな使命として、専門学校時代から多くの卒業生を送り出し2007年、本学が誕生しました。

現代では医師をはじめ、医療に関するさまざまなスペシャリストたちが丸となる、チーム医療の必要性が叫ばれています。チーム医療のスペシャリストの育成を目指す本学は、その礎を築く役割を果たしてきました。今では看護学科、臨床工学科、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線学科を置きますが、特に本年度は看護学科と臨床工学科において2012（平成24）年の学科新設以来4学年すべての学生が揃う節目の年。これを機に今後、本学の存在はますます大きくなることでしょう。

心のたくましさで積極的に学ぶ 「アクティブラーニング」

物事を慎重に進めることの大切さを教える「石橋を叩いて渡る」という故事があります。しかし、慎重のあまりに石橋を叩いて壊してしまつては、橋を渡ることができません。心には豊かさと共にたくましさ、つまり、石橋を渡れる勇気と行動力も求められているのです。

本学が建学精神として掲げる「報恩感謝」の言葉は、親、家族、社会から受けるさまざまな恩に報い、常に感謝の気持ちを持つことの尊さを意味して

チーム医療のスペシャリストを目指し、国家試験の合格に向けて突き進む際にも、心のたくましさは欠かせません。日々、大学生活を送っていく中で、時には地域のボランティア活動に参加したり、海外へ渡って異文化に触れたり、さまざまなことにチャレンジしてください。



新校舎のイメージ図

い。こうした体験を通じて大いに刺激を受けることで、単に教わるうというだけではなく、自ら学ぼうとする積極的な姿勢が養われるでしょう。本学が目指しているのはまさに「アクティブラーニング」なのです。

本学では今夏、新校舎が竣工する予定です。現在、各校舎に分散している大学本部機能をこの新校舎に集約し、大学運営の効率化と運営力の強化を図ることが狙いとなりますので、新校舎を活用し、「学生満足度向上」に向けてこれからもよりいっそう邁進していきたいと考えています。



新藤 宣夫学長

平成
26年度

国家試験を
終えて

今年度の対策と学生・保護者の皆様に向けてのメッセージ

知識・技術・態度の3側面で
卒業時レベルへの到達を目指す

看護学科 学科長 小山 英子

1期生の国家試験受験と卒業の年度を迎えました。学科開設以来、全教員が日々の教育実践を振り返り、改善に向けての努力をしてきました。今年度はさらに、統合実習や看護学セミナー、国家試験対策等を通して、知識・技術・態度の3側面が卒業時レベルに到達できるように全力で取り組み、本学の看護学科を選んで良かったと思つて頂けるよう努力致します。

学生のみなさんは、授業をただ聴いて鵜呑みにするのではなく、「どうして?」「もつと他にあるのでは?」などの疑問を持ち、自ら調べ、人に問うといった行動をとりましよう。そうすれば、世界はさらに広がり、人間としても大きく成長できると思います。

看護職は人のいのちと向き合う専門職ですから、専門的な知識、技術、判断力とともに優しさ、誠実性、責任感などの人間性も求められます。時には、苦しく辛い体験をするかもしれませんが、乗り越えられないものではありません。私生活の過ごし方も影響しますので、保護者の皆様におかれましては、生活習慣、学習習慣などについて、可能な範囲でご支援をお願い申し上げます。

本学で学んだ誇りと自信を持って
国家試験の合格に向かう

臨床工学科 学科長 平井 紀光

学科開設4年目を迎えました。1期生の4年生は臨床実習を通して「チーム医療を担う一員」としての責任と役割についての自覚を強くしているでしょう。また、臨床工学技士国家試験の合格に向けて、学生と教員とでその対策に万全を期しています。来年3月には、1期生の全員が本学で学んだという誇りと自信を持って活躍することを期待しています。

国家試験の受験勉強は、「何をどこまで憶えればよいのか?」ではなく、これまで学んだ知識を基に、セミナーや卒業研究を通して「それはなぜか?」を深く考えることが重要です。こうした学習体験を重ねることで総合的な力とモチベーションを高め、着実に力を付けて合格を勝ち取ってください。

父母後援会様のご支援を頂き取り組んできたME検定試験の結果は、4年生が95%の合格率と、良い成績を修めています。しかし、これからが臨床実習、国家試験対策授業などスケジュールがハードになり、可否を決める大切な時期に入ります。保護者の皆様には、これまで同様、学生の心身の健康管理とともに、温かく激励してくださいませよう。ご支援をお願い申し上げます。

平成26年度の国家試験で改めて
「基礎学力の充実」が重要だと実感

理学療法学専攻 専攻長 伊藤 芳保

平成26年度理学療法士国家試験の全国平均合格率は、過去3年間で最も低い数字でした。しかし、難易度が上がったというよりも、基礎知識をしっかり積み重ねていけば合格に繋がる出題だと考えられますので、「基礎学力の充実」を目指すことが重要であると改めて感じさせられます。

最近の学生の傾向として専門領域、中でも実地問題で苦労しているように見られます。実地問題は臨床実習で学ぶことが多いものばかりです。ぜひ、臨床実習では、受身の学習にならず、積極的に多くの体験を積んで頂きたいと思えます。

国家試験では、授業だけではなく臨床実習を含めた4年間の総決算としての知識や技術が問われます。とても数日間での十分な対策が行えるわけではありません。普段の規則正しい生活が重要であり、勉学を続ける習慣が大切です。時には、勉強してもしなかなか成績が伸びずに悩むこともあると思います。しかし、地道に続ければ必ず報われると思います。本専攻教員一丸となって全員合格を目指していますので、保護者の皆様におかれましては、学習指導に対するご理解と、ご支援をお願い申し上げます。

新任教員の紹介



看護学科 講師 平田 礼子



看護学科 講師 酒井 博子



看護学科 助教 滝沢 隆



理学療法学専攻 教授 篠塚 敏雄



理学療法学専攻 講師 柳澤 勇



診療放射線学科 教授 西澤 徹



診療放射線学科 准教授 齋藤 享子



医療・基礎教育科 助教 天野 修司



医療・基礎教育科 助教 木村 美紀



医療・基礎教育科 助教 鈴木 研太



医療・基礎教育科 助教 鳥居 徹也

国家試験対策を確立
全教員が連携して学生をサポート

リハビリテーション学科 学科長 兼
作業療法学専攻 専攻長 本田 豊

平成26年度作業療法士国家試験では、日常的、継続的な勉強がいかに重要であることを痛感しました。そこで、今年度の抱負として、年間を通してモチベーションを高めながら国家試験勉強が継続できるように支援をしていきたいと思っています。

本専攻では、国家試験対策の勉強法は確立しています。あとは、学生が勉強に集中して効率的に取り組めるようにすることが重要です。そのために、全教員が連携して学生をサポートする体制を準備しております。悔いのない大学生活を過ごせるように頑張りましょう。

本専攻では、真面目に努力する学生を大切にします。わからなければ、わかるまで教えてほしいと食い下がってくれるくらいに真剣な気持ちで勉学に臨んでほしいと思っております。そして、わかったことは、しっかりと自分のものにするまで人知れず努力を続けてほしいと指導しております。保護者の皆様におかれましては、ご不明の点、ご心配なことがありましたらいつでもお問い合わせください。そして国家試験合格に向けて、ご支援をお願い申し上げます。

教員一丸で国家試験対策を指導
合格率で全国平均を上回り続ける

診療放射線学科 学科長 中谷 儀一郎

平成26年度診療放射線技師国家試験では、本学の合格率が全国平均を上回りました。この結果は、5期生の一人ひとりが

担任を中心とする教員の指導方法を信じて、国家試験の直前まで諦めないで努力した結果だと感じています。卒業生には心から敬意を表したいと思います。

今年度の国家試験でも全国平均以上の合格率を維持できるように、また、一人でも多くの学生が卒業できるように、教員一丸となって学生指導に当たります。

今春ご入学された新入生とその保護者の皆様に向けては、まず、心よりお祝いを申し上げます。診療放射線技師という専門の医療従事者を目指す学生の宿命として、4年後の卒業時において国家試験の合格があります。まだまだ先のことと考えがちですが、「千里の道も一歩から」ということわざがあるように、日頃からコツコツと勉強することが重要となります。そこで本学科では、1日2時間の復習ができるように具体的に指導しております。保護者の皆様におかれましては、国家試験合格という目標達成に向けて、ご支援をお願い申し上げます。

新入生勧誘で
パフォーマンスを披露!

新入生が入学すると、クラブ・サークルは新入生勧誘に励みます。数あるサークルの中でもよさこいサークル日本医療連は4月16日と5月12日、軽音サークルは4月27・28・30日、ダンスサークルR.D.Hは5月15日のいずれも12時30分～13時に本学中庭でパフォーマンスを披露しました。



よさこいサークル日本医療連



軽音サークル



ダンスサークルR.D.H

医療系大学の学生だからこそ
学びが多いボランティア活動

看護学科 講師 石田 和雄

本学のボランティアサークルの顧問をして感じることは、ボランティア活動を通して、新たな体験をしたり、自分と異なる価値観を持つ人と交流したりする機会が得られ、学生にとっては成長に活かせる学びが多いということです。

例えば、九都県市合同防災訓練に参加した学生は、「一つの尊い命を救うために地域の方とさまざまな専門職が連携していることを実感できました。講義だけではわからなかった地域を支えている人たちがこれほどたくさんいるということを知り驚きました。」という感想を話しました。ボランティア活動は、学生自身が、なぜ医療従事者を目指したのか、

なぜ本学を希望して入学したのかを再認識できる貴重なものとなっていると言えます。



九都県市合同防災訓練に要救助者役で参加

Performance

ご卒業191名・ご入学376名、おめでとうございます！

2014 Graduation Ceremony

平成26年度 学位記授与式

3月10日、川越プリンスホテルにおいて学位記授与式が盛大に行われました。卒業生数は、診療放射線学科79名、理学療法学専攻85名、作業療法学専攻27名の合計191名です。

式は、徳永千尋教務部長による開式の辞で幕を開け、一同が「君が代」を斉唱。卒業生代表として、診療放射線学科の阿久津加奈さん、理学療法学専攻の秋山諒匡さん、作業療法学専攻の阿久津智美さんが順に登壇し、新藤宣夫学長から学位記を授与されました。

学生表彰が終わると、新藤宣夫学長が「本学で過ごした4年間はこれまでの人生の中でも最も充実し、有意義な時期であったと思います。この間に学んだ知識と経験は、今後、医療従事者としての活躍の原動力と自信になるものと感じております」と式辞を述べました。



続いて役員代表として新藤博明副学長が登壇し、「本学の校訓である『報恩感謝』の言葉を忘れず、家族、友人、先輩をはじめ、さまざまな方々への感謝を忘れず、仕事に誇りを持ち、自信を持って人生を歩んでください」と卒業生へエールを送りました。

卒業生を代表して謝辞を述べた作業療法学専攻の今井俊一さんは、「私たちはこれから全国各地の医療現場で働くこととなりますが、本学の卒業生としての誇りと責任感を持つて業務に励むことをお約束します」と宣誓しました。教職員、保護者の皆様、ご来賓の皆様に見守られた中で卒業生は新たな門出を迎え、希望で目を輝かせていました。

卒業生を代表して謝辞を述べた作業療法学専攻の今井俊一さんは、「私たちはこれから全国各地の医療現場で働くこととなりますが、本学の卒業生としての誇りと責任感を持つて業務に励むことをお約束します」と宣誓しました。教職員、保護者の皆様、ご来賓の皆様に見守られた中で卒業生は新たな門出を迎え、希望で目を輝かせていました。

平成26年度 卒業生受賞者

◎診療放射線学科

学長賞
埼玉県診療放射線技師会 会長賞
埼玉県診療放射線技師会 奨励賞

山口 佳奈子
安沢 香菜
嶋崎 祐貴

◎理学療法学専攻

学長賞
日本理学療法士協会 優秀賞
理学療法科学学会 優秀賞
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞

君島 侑真
飯田 祐吾
丹野 有理
渡辺 恒希

◎作業療法学専攻

学長賞
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞
埼玉県作業療法士会 会長賞

今井 俊一
杉田 絢音
阿久津 智美

開催日：平成27年3月10日(火) 開式：午前11時
会場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

2015 Entrance Ceremony

平成27年度 入学式

4月3日、川越プリンスホテルにおいて平成27年度入学式が開催されました。診療放射線学科96名、理学療法学専攻97名、作業療法学専攻50名、看護学科88名、臨床工学科45名、合計376名が、入学の認証を受けました。

新藤宣夫学長は、「新入生の多くは高等学校卒業にあたり、進路について大きな選択に迫られました。しかし、その選択の答えは誰かに教えてもらえるものではなく、正解もありません。答えは、新入生諸君の今後の行動がすべてです。それぞれが診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、看護師、臨床工学技士の道を選び、今日という日を迎えたことを、あらためて認識してください。初心を忘れず、国家資格を得て社会に貢献できる医療従事者に成長し、

堅実な人生を歩んでください」と式辞を述べました。
安田晃父母後援会会長からは、「先日行われました学位記授与式で卒業生の皆様は、あつという間の4年間だったと笑顔を浮かべていました。ここにいる新入生の皆様は4年後、笑顔で卒業できることを心よりお祈り申し上げます」とエールをいただきました。
新入生代表として壇上に登った臨床工学科の森田里穂さんは、「将来、立派な医療従事者になれるよう、また、本学の学生として輝かしい足跡を残せるように、研鑽と努力を重ねてまいります」と宣誓しました。
保護者の皆様の温かい眼差しに見守られ、新入生は大学生活の一步を踏み出しました。



開催日：平成27年4月3日(金) 開式：午前11時
会場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)